

令和6年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：地域支援部地域コミュニティ支援課

1 施設概要

施設名称	横須賀市立市民活動サポートセンター
指定管理者名	特定非営利活動法人YMC Aコミュニティサポート
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 4月の利用者数は2,833名であり前年度同月比で50名増加した。団体活動(総会資料の印刷や打ち合わせ等)を行う方が増えたため、交流サロンやミーティングエリアの利用者が増加した(交流サロン60名増、ミーティングコーナー56名増、キッズコーナー38名増)。 ・ 登録団体数は4団体の登録があり754団体となった。 ・ 昨年度から実施している各種相談会については、団体から順調に申し込みをいただいております。さまざまな相談を受けているとのこと。相談内容を分析し、市民活動サポートセンターが求められていることの変化などの把握に努めていただきたい。 ・ 新年度を迎えた学生にボランティア活動を知ってもらうために、県立保健福祉大学、関東学院大学、緑ヶ丘学院にて、出張講座などを行った。新たな活動の担い手の育成として、ユース世代へのアプローチは重要である。引き継ぎ、継続的な取り組みを行っていただきたい。
5月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 5月の利用者数は2,647名であり前年度同月比で18名増加であり、ほぼ横ばいの状況であった。 ・ 6団体の新規登録があり登録団体数は760団体となった。 ・ 夏の市民活動・ボランティア経験について、応募団体数は昨年度の25団体から5団体増え30団体であった。新たな取り組みとして、最近登録した団体に働きかけたとのこと。その点について評価できる。 ・ 相談会(介護相談や成年後見相談など)について、利用促進のために、ニーズの把握と周知に努めていただきたい。

6 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 6 月の利用者数は 2,802 名であり前年度同月比で 64 名増加であり、ほぼ横ばいの状況であった。 ・ 1 団体の廃止があり登録団体数は 759 団体となった。 ・ 今年の夏のボランティア・市民活動について、開催期間を例年の 8 月末までを 9 月 15 日までとした。学生が参加しやすい期間にするためとのこと。その点について評価できる。
7 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 7 月の利用者数は 2,428 名であり前年度同月比で 219 名増加した。ミーティングコーナーや交流サロンなどの利用が増加した(ミーティングコーナー140 名増、交流サロン 41 名増、活動紹介コーナー34 名増など)。 ・ 1 団体の廃止があり登録団体数は 758 団体となった。 ・ スタッフ研修の一環として、スタッフ間で防災・減災に関する意見交換、施設内のヒヤリハットシートの再確認などが行われた。日頃から危機意識を高め、利用者の安全を徹底する姿勢があると評価できる。
8 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 8 月の利用者数は 2,348 名であり前年度同月比で 146 名減少した。活動紹介コーナーやミーティングコーナーなどが減少した(活動紹介コーナー68 名減、ミーティングコーナー58 名減、キッズコーナー13 名減など)。市民活動サポートセンターによると、猛暑などを理由に外出を控える団体もいたとのこと。 ・ 2 団体の新規登録があり登録団体数は 760 団体となった。 ・ 新たな取り組みとして、例年行っている「のたろんキッズデイ」にあわせて、市民公益活動団体と連携して、夏休み自由研究お役立ち展示を行ったとのこと。子どもに市民公益活動に関心を持ってもらう機会を創出し、市民公益活動団体の新たな担い手の育成につなげる姿勢は評価できる。
9 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 9 月の利用者数は 2,732 名であり前年度同月比で 288 名増加し、利用団体数も 719 団体で前年度同月と比べ 54 団体増えている。 ・ 8 月は猛暑により活動を控えた団体が 9 月に入り活動を行ったこと、また、前々年度に比べても利用者数、利用団体数ともに増加していることから、団体の活動が活発になっているのではないかと推測する。 ・ 登録団体数は、3 団体の新規登録があり 763 団体となった。 ・ 「夏のボランティア・市民活動体験」の報告会において、今年度から実施期間を 9 月 15 日までに延長(前年度までは 8 月末)したことについて、

	大学生の更なる参加に繋がった、夏の暑さがおさまる時期に活動が出来るなど、参加団体から高い評価を得られたことは大変評価出来る。 一方で、夏の期間のイベント実施となることから、夏の酷暑対策は必要であり、これまで同様、来年度に向け検討を重ね、より安全で皆が楽しめるイベントを継続してもらいたい。
10 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 10 月の利用者数は 2,681 名であり前年度同月比で 381 名増加し、利用団体数も 724 団体で前年度同月と比べ 45 団体増加した。秋のイベントの準備や打ち合わせを行う団体が多く見受けられたとのこと。 ・ 登録団体数は、1 団体の新規登録があり 764 団体となった。 ・ 季節の変わり目ではあるが、暑い日も続く時もあり、室温調節が難しい状況であったため、いつも以上に利用者の様子を確認して、暑い時は換気をこまめに行い、利用者が過ごしやすい状況の維持を心掛けたとのこと。利用者からは、「とても過ごしやすかった」と言っていたようにである。イベントの準備などで忙しい状況が続く中、利用者目線で運営する姿勢を徹底したことは評価できる。
11 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 11 月の利用者数は 2,489 名であり前年度同月比微増 (3.6%増)、利用団体数も 688 団体ではほぼ前年度同月並みの利用であった。定例的な利用が多かったように思われる。 ・ 今年度に入ってから新たな利用傾向として、キッズコーナーの利用増加がある。今月は子育て支援の団体がこども連れで打ち合わせに来館し、キッズコーナーを利用しながら打ち合わせを行っていた。利用者からは、キッズコーナーがあることにより、こども連れでも活動出来ると好評であり、子育て世代がより活発に活動出来るよう積極的な施設利用を促してもらいたい。 ・ 登録団体数は、2 団体の新規登録があり 766 団体となった。 ・ 今年度、市民活動サポートセンターは 25 周年を迎え、11 月 2 日、3 日の記念イベントの際には、利用者の方からお祝いや感謝の言葉を多くいただいております、これからも引き続き愛される施設となるよう尽力してもらいたい。イベントの講演会では、石川県在住の方から能登半島地震の体験談をお話いただき、同じ半島地域として非常に貴重なお話を聞け、各団体の皆さんとも一緒に防災について考える良い機会を作れた。地震及び大津波警報発令時を想定した避難訓練では、全員避難までの時間を把握出来、その時間の中で何をすべきかをスタッフで共有出来たことは有意義であった。また、災害弱者の方など多様な方とともに、いざとい

	う時の避難について学びの場を持て、階段の手すりが片側だけにしかなく避難に時間を要する箇所があることや、館内放送が分かりにくいなど課題を掴め、実災害時に向け非常に有益な訓練になったと評価出来る。
12 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 12 月の利用者数は 2,383 名であり前年度同月比微増（1.1%増）、利用団体数も 626 団体で前年度同月並みの利用であった。先月に引き続き活動が活発になっているのではないかと推測する。 ・ 登録団体数は、3 団体の新規登録があり 769 団体となった。 ・ 12 月 22 日に開催した団体交流会では、5 団体が参加し、団体間で活動継続の課題の共有や対応策の検討が行われた。その結果、参加した団体間で連携することで、活動を継続させるという提案が生まれ、盛り上がったようである。活動継続に悩まれる団体がいる中、次に繋げられたことはたいへん評価できる。
1 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 1 月の利用者数は 2,235 名であり前年度同月比微増（5.1%増）、利用団体数も 603 団体であり、前年度同月比微増(2.5%)であった。先月に引き続き活動が活発になっているのではないかと推測する。 ・ 登録団体数は、3 団体の新規登録があり 772 団体となった。 ・ 1 月 11 日から市民活動サポートセンターの窓に市民活動団体のポスターを貼り、市民活動サポートセンターの近くを通る歩行者に向けて、団体の PR を行っている。その結果、このポスターを見た方が団体に加入した。また、普段よりも歩行者が足を止めてくれる機会が増えたようだ。地道な活動を行うことも大切であり、評価したい。
2 月	・ 業務は全般にわたり、適正かつ誠実に良好な管理運営が行われている。 ・ 2 月の利用者数は 2,145 名であり前年度同月比微減（2.6%減）、利用団体数も 613 団体であり、前年度同月比微減(1.2%減)であった。 ・ 登録団体数は、2 月に引き続き 772 団体であった。 ・ のたろんフェア(2月8日(土)、9日(日)開催)の新たな取組みとして、同じ建物にある産業交流プラザとの連携強化の一環として、市民活動サポートセンターと産業交流プラザを巡回するスタンプラリーを開催した。来館者からは好評であり、賑わいの創出につながったとのこと。来館者に楽しんでもらうために、新たな取組みを実施する姿勢は重要であり、評価するとともに、市民活動の新たな担い手に繋げていきたい。
3 月	